

サイコセルPRO 今が打ち時！！

茎数に応じて倒伏軽減剤（植物成長調整剤）を施用しましょう！

現在の秋まき小麦は圃場間格差はあるものの、平均草丈が40～50cmを迎えております。また、茎数は1,300本/m²を超えている圃場も散見されております。茎数に応じて倒伏軽減剤（植物成長調整剤）の施用を検討しましょう。また、使用する薬剤に応じた散布適期を逃さぬよう注意しましょう。

○倒伏軽減剤（植物成長調整剤）について

薬 剤 名	使 用 時 期	10a当たり		判断時期と茎数の目安
		薬量・倍率	散布水量	
サイコセルPRO	出穂前20～10日 小麦の草丈40～60cm	200～300mL	100L	節間伸長盛期 草丈40～60cm頃 1,300本/m ² 以上
カルタイムフロアブル	止葉期～出穂始期	150～200mL	100L	止葉期 草丈50～60cm頃 1,200本/m ² 以上
エスレル10	止葉期～出穂始期	300～500倍	100L	穂ばらみ期～出穂始 草丈70～80cm頃 900本/m ² 以上
		75～125倍	25L	

※生育の早い圃場によっては、節間伸長盛期を過ぎている場合があります。その場合には薬害が懸念されることから無理な散布は控えましょう。

注1) サイコセルは高温時の散布で薬害が生じることがありますので、夕方に散布しましょう。

注2) 倒伏軽減剤（植物成長調整剤）は他の薬剤とは混用せず、重複散布にならないよう十分注意しましょう。

秋まき小麦の止葉期の追肥について

- ・ 本年の止葉期は5月28日頃の見込となっております。
- ・ 止葉期までに葉色が落ちそうな圃場には適時追肥を実施しましょう。
- ・ 施用量は窒素で10aあたり4～6kgを上限とし、他作業との競合や雨天が想定される場合は、可能な限り止葉期の前後に追肥できるよう、作業を調整しましょう。